



あいさつ しあわ みなもと 挨拶は、幸せパワーの源

副校長 わうち あきこ
和内 昭子

毎朝、私は正門前で子どもたちと「おはようございます。」の挨拶をしています。その一言から学校が始まります。「おはようございます。」の元気な挨拶が返ってくると、「元気な挨拶ありがとう。」「元気な挨拶、嬉しいです。」と伝えていきます。

さらに、技術員の津田さんは、「お・は・よーございます。」子どもたちにパフォーマンス付きで挨拶をしてくださいます。すると、子どもたちも元気よく「お・は・よーございます。」とパフォーマンスで返してくれる子や恥ずかしそうに小さくパフォーマンスする子、「おはようございます。」と挨拶だけで返す子など様々です。

また、計画委員会の挨拶隊の子どもたちも8時5分から正門前で活躍しています。下級生が挨拶隊の影響を受けて自主的に挨拶隊に飛び入り参加することもあります。

このように茅ヶ崎小学校では、進んで挨拶できる子を目指し、全教職員、子ども達とともに取り組んでいます。

先日、職業体験に来た茅ヶ崎中学校の中学生2名にも「挨拶隊」を体験してもらいました。「朝、あいさつを門の前でしているとき、相手から元気よくあいさつが返ってくるとても気持ちがいいなと強く思いました。」と心に残ったことを教えてくれました。

挨拶は、誰もがができるコミュニケーションの一つです。そして、挨拶をされた人を幸せな気持ちにできる魔法の言葉です。これからも元気な挨拶で、たくさんの人に幸せパワーをひろげていきたいです。



ユニセフ募金・
書き損じ葉書等のご協力ありがとうございました。ユニセフと横浜市視覚障害者福祉協会へ寄付しました。